



森と水の源流館 だより

葉月 2009年8月 vol.80

電話)52-0888 fax)52-0388(水曜休館)



<川上村の生き物クイズ>

ヒント：サケ科の魚類で、パーマークと朱点が特徴です。
種類がわかった方はこの森と水の源流館だよりを持って、館までお越しください。正解者先着5名さまに粗品進呈します。



企画展「カエルの世界へようこそ」開催中

8月1日(土)～31日(月)

昔はよく姿を見たり、鳴き声を聞いたりしていたカエルたちが少なくなった気がしませんか？カエルが人から離れてしまったのか、人がカエルから離れてしまったのか、考えてみてください。日本は大陸に近い島国であるため、さまざまなカエルたちが生息していますが、自然や環境の変化に敏感なカエルたちにとって棲みやすい場所が減少しているのも事実です。他に、奈良県内で確認された両生類と爬虫類も展示しています。



～まだまだ間に合うイベント案内～

社団法人近畿建設協会支援シンポジウム “水源地の村”からの提言 「環境に生かされた地域づくり」

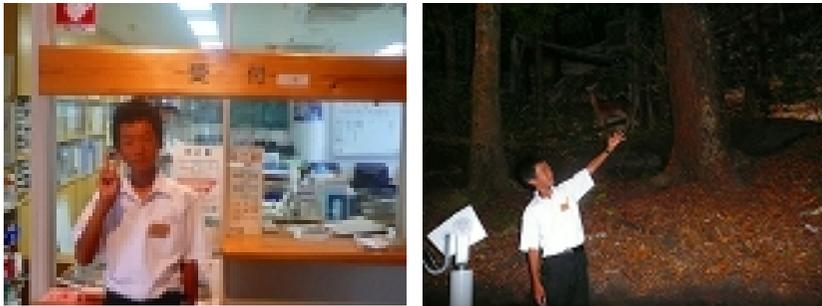
●8/26(水) 13:30～16:30(開場 13:00) 参加費・無料 要事前申込 会場・橿原市商工経済会館7F

第8回 森守募金キャンペーン

●9/6(日) 吉野川紀の川源流クリーンウォーク 10:00～15:00 参加費無料

●9/13(日) 吉野川紀の川ふれあいデー 11:00～15:00 当日入館無料

7/28～31 川上中学校職業体験



7月28～31日、川上中学校から生徒さん一名が、職業体験に来てくれました。館の通常業務だけでなく、団体客の案内やイベントの計画、企画展の準備などを体験してもらいました。「ちょっとよってんけ～！ かわかみブログ」には体験記が掲載されていますので、そちらも是非ご覧ください。

7/7 古和釜中学校森林体験

遠く千葉県の船橋市から古和釜中学校の生徒さんたちが川上村に学習に来ました。井光で柿の葉寿司、匠の聚では陶芸など様々なことを学びましたが、源流館では林業体験を希望する生徒さんたちを受け入れました。

後日いただいた感想の手紙には貴重な体験で、森の大切さがよくわかったと嬉しいお便りがありました。



↑辻谷館長の指導で込み入った森を間伐して元気な森にしていきました。



8/1-2 森と水のワークショップ

恒例の森と水のワークショップを開催しました。この行事は川上宣言の一つ、「私たち川上は、子供たちが自然の生命の躍動に素直に感動できる場を作ります。」を具現化する行事として開催してきたもので、今年で8回目となりました。子供たちは公募で主に奈良県各地から集まり、最初は知らない同士でも最後は友達になって帰っていきました。

行事では源流沢登り体験、キャンプファイヤー、白川渡キャンプ場でのテント泊、匠の聚での七宝焼き体験、アマゴの塩焼き、鹿肉料理など水源の村「川上村」を盛りだくさんに体感する内容に子供たちも満足してもらえたようです。帰りには「来年も来たい」といううれしい声がたくさんありました。この行事の為に、各地区、村民の皆さんに大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。



↑沢登り体験！がんばれー！



↑楽しいキャンプファイヤー



↑森野先生指導による七宝焼き